

平成31年産米の市町村別の生産の目安の算定について

1 水田の構造改革の加速に向けた目安の算定方法

- (1) 主食用米から収益性の高い園芸品目等への転換を促進するための目安面積を設定する。
- (2) 平成28年産の主食用米作付面積21,100haから転換目標面積1,000haを控除した20,100haを目安面積とする。
- (3) 市町村別面積は、大分県の目安面積を平成28年産主食用米作付面積の市町村別シェアで按分することにより設定する。

2 米の需給安定に向けた目安の算定方法

- (1) 国が示す「米穀の需給及び価格の安定に関する基本方針」に基づいた生産量より、市町村別のシェア（H27シェア率）で按分することにより設定する。
- (2) 面積換算値は、当該市町村の基準単収を用いて生産量を面積に換算する。

平成31年産米の市町村別の生産の目安等

市町村名	水田の構造改革の 加速に向けた目安 (ha)	米の需給安定に向けた目安	
		(トン)	面積換算値 (ha)※
大分市	1,489	8,104.1	1,634
別府市	138	734.9	154
中津市	1,534	8,801.2	1,702
日田市	1,017	5,145.6	1,050
佐伯市	791	4,224.3	886
臼杵市	640	3,244.6	673
竹田市	2,020	12,738.2	2,459
豊後高田市	849	5,130.2	1,008
杵築市	1,239	6,996.8	1,364
宇佐市	3,438	20,926.3	4,048
豊後大野市	2,410	12,331.6	2,527
由布市	1,381	7,522.3	1,541
国東市	1,393	7,881.5	1,567
姫島村	1	4.8	2
日出町	238	1,426.0	282
九重町	705	3,949.9	811
玖珠町	817	4,609.7	943
県計	20,100	113,772.0	22,651

※ 面積換算値は数量の目安を基準単収で除して小数点以下を四捨五入